

# ポケットを膨らませて

その夏、札幌に「祭」を見に来た。

案内人のやすさんは、定年して札幌の実家に戻ったが、昔は競馬記者だった。

「アメリカやフランスは夏は避暑地で競馬をやるんですってね。日本なら札幌ですね」

私の知ったかぶりをやすさんは即、見抜く。

「そんな呑気なことを言ってるって痛い目に遭うぞ。」

札幌記念はおまえみたいな本州からの旅行者を楽しませようと、

人気のない馬が頑張るんだから」

「馬に人気なんて分からないでしょ」

即座に言い返したのも、有馬記念を勝ったマツリダゴッホが出ていたからだ。

マツリダゴッホはゴール前で五番人気馬にクビ差かわされた。

やすさんはズボンのポケットをジャラジャラ鳴らしながら払い戻しから戻ってきた。

「馬単で取るとは、さすが元競馬記者」

「俺がノリを買わないわけないだろ。あんちゃんの時から応援してんのに」

「勝ち馬って、ダービーで偶然空いてたユタカが乗ったくらい、持ってる馬なんですね」

「なんだよ、おまえさんも取ったのか？」

「取るわけないじゃないですか。僕はマツリを見に来たのに」

夕食をご馳走になり、改札まで見送ってもらった。

財布はすっからかんなのに満たされたのは、やすさんと来年の再会を約束したからか。

勝ったタスカーターソルテがイタリ語で

「ポケットいっぱい幸せ」という意味だと知ったのは

少し眠くなった、東京便の待合室に入ってからだ。



文：本城雅人

1965年神奈川県生まれ。産経新聞に入社し、浦和総局、サンケイスポーツで野球、競馬などを取材。2009年に『ノバディノズ』でデビュー。17年『ミッドナイトジャーナル』で吉川英治文学新人賞を受賞。18年『筋流の記者』で直木三十五賞候補。競馬小説『あかり野牧場』など著書多数。

画：倉橋寛之

1972年北海道生まれ。札幌を中心にアートディレクター、イラストレーターとしてデザイン・広告業に従事。2009年TOKYO ADC(東京アートディレクターズクラブ)ADC賞受賞。現在、株式会社9Bデザイン代表。